

2017年5月25日

黄鶴楼の骨董品 2000 件を来年公開展示する予定

昨日、「黄鶴楼コレクション第1人者」の民間コレクター姜普林氏が自ら数十年かけて収集した黄鶴楼の関連 2000 件の骨董を黄鶴楼公園に寄付する。同園の永久収蔵品として保管され、来年から無料で観光客向けに展示される予定。

姜氏は記者を収蔵品室まで案内した。黄鶴楼に関する書籍、陶磁器、酒瓶、目覚まし時計、油印刷機、ミシンなどの収蔵品はあらゆる分野に及び、部屋中にならんでいる。黄鶴楼の専門家姜氏と寄付契約に署名した。黄鶴楼管理处の李副主任は「姜さんは貴重なコレクションを私たちに寄付してくださいました。彼の期待を裏切らないように、しっかり収集、研究、展示します。」と述べた。

黄鶴楼公園はこれから個別展示ホールを設け、これらの収蔵品を展示する予定。



姜氏の収蔵室の様子

2017年5月26日

世界軍人運動会初の水泳競技場着工

2019年に開催予定の第7回世界軍人運動会は昨日初の水泳競技場の建設工事に着工した。建設地は漢陽開発区の武漢商業学院のキャンパス内で、竣工すれば水泳のメイン会場となる。

情報によると、同水泳場は計画面積3万㎡、オリンピックの基準に基づき建設し、国際水泳競技を開催できる甲レベルの水泳場になる。中には、国際競技スタンダードプールおよびトレーニングプールを各1プール設け、来年8月に竣工し、2019年の運動会が閉幕

してから市民に開放する予定である。



水泳場予想図